校 歌

明るく・行進曲風に

サトウ・ハチロー 作詞
松田トシ 作曲

いとしきのリンゴのちいさき花に
 こころのすべてをうちこむ畑
 わかさと春とをみつめて招く
 たがやとすすきくわまなびてまねくる
 ひとついでのみちゆくはあまたのひと
 いこいついでのおもいはあまたのひと
 かがいやくいとみるみなぎるちかんら
 さいわいあふれにみレのばんしょうつ
 ちにしむくわこうどわれら
 ちに生きぬくわこうどわれら
 うたえよ名久井名久井農高
 たたえよ名久井名久井農高
 わが母校
 わが母校

A いとしきリンゴの ちいさき花に
 若さと春とを みつけて招く
 ひとつの道行く あまたの友の
 輝やく瞳に みなぎる力
 土に親しむ 若人我等
 唄えよ名久井 名久井農高
 おおわが母校

B こころの凡てを 打ちこむ畑
 耕やす鋤鉾 学びて光る
 憩いて想うは 種まく人と
 幸いあふれる ミレーの晩鐘
 土に生きぬく 若人我等
 讃えよ名久井 名久井農高
 おおわが母校

C 馬淵のほとりに 未来を語り
 名久井の頂き 眺めて誓う
 羊よ小鳥よ 草の葉木の葉
 夜空のスパルよ 将来見よや
 土とはなれぬ 若人我等
 唄えよ名久井 名久井農高
 おおわが母校

D 雌牛の乳房を しぼりて唄い
 仔馬のたてがみ なぜつつ唄う
 小路にみつけた 青空色の
 声なき露草 あわせてゆれる
 土を敬う 若人我等
 讃えよ名久井 名久井農高
 おおわが母校